プラスチック製容器	
木製容器	
リール	

㈱　工業用雷管については、内装容器として袋及びリールは使用することができない。

別表第１備考三㈠①「137」の項を次のように改める。

「137」は、次の容器及び包装等を示す。

組　合　せ　容　器	
内　装　容　器	外　装　容　器
ファイバ板製筒	４Ａ，４Ｂ，４Ｃ１，４Ｃ２，４Ｄ，４Ｆ，４Ｇ，４Ｈ２，４Ｎ
金属製筒	
プラスチック製筒	
ファイバ板製箱	
木箱	
プラスチック袋	

㈱　外装容器の仕切りは、内装容器として使用することができる。

別表第１備考三㈡②「203」の項を次のように改める。

「203」は、次の容器及び包装等を示す。

組　合　せ　容　器	
内　装　容　器	外　装　容　器
金属製エアゾール容器若しくはプラスチック製エアゾール容器又はガス容器	１Ａ２，１Ｂ２，１Ｄ，１Ｇ，１Ｈ２，１Ｎ２，４Ａ，４Ｂ，４Ｃ１，４Ｃ２，４Ｄ，４Ｆ，４Ｇ，４Ｈ１，４Ｈ２，４Ｎ

㈱１）内装容器が金属製エアゾール容器及びガス容器（ガスカートリッジ）であるものは次による（再充てんのできないものに限る。）。

ア）内容積が１ℓ以下のものに限ること。

イ）55℃における内部ゲージ圧力が1,500kPa以下で充てんされていること。

ウ）55℃における内部ゲージ圧力の1.5倍の圧力で破裂しないものに限ること。

２）内装容器がプラスチック製エアゾール容器であるものは次による（再充てんのできないものに限る。）。

ア）容器に充てんされる噴射剤が非引火性及び非毒性のガスであり、かつ、内容物に輸送禁止物件及び輸送許容物件を有しない場合にあっては内容積が500mℓ以下、それ以外の場合にあっては120mℓ以下であること。

イ）55℃における内部ゲージの圧力が970kPa以下で充てんされていること。

３）容器及び包装は、等級が２の輸送許容物件を輸送する場合の要件に適合すること。

４）エアゾール噴出部は、キャップ等により保護されていること。

５）内装容器は、外装容器の中で移動しないよう確実に固定すること。

別表第１備考三㈡②「Ｙ203」の項を次のように改める。

「Ｙ203」は、次の容器及び包装等を示す。

組　合　せ　容　器	
内　装　容　器	外　装　容　器
金属製エアゾール容器若しくはプラスチック製エアゾール容器又はガス容器	ドラム 箱

㈱１）内装容器が金属製エアゾール容器及びガス容器（ガスカートリッジ）であるものは次による（再充てんのできないものに限る。）。

ア）内容積が１ℓ以下のものに限ること。ただし、毒物を収納した容器は、内容積が120mℓ以下のものに限ること。

イ）55℃における内部ゲージ圧力が1,245kPa以下で充てんされていること。

ウ）55℃における内部ゲージ圧力の1.5倍の圧力で破裂しないものに限ること。

２）内装容器がプラスチック製エアゾール容器であるものは次による（再充てんのできないものに限る。）。

ア）容器に充てんされる噴射剤が非引火性及び非毒性のガスであり、かつ、内容物に輸送禁止物件及び輸送許容物件を有しない場合にあっては内容積が500mℓ以下、それ以外の場合にあっては120mℓ以下であること。

イ）55℃における内部ゲージ圧力が970kPa以下で充てんされていること。

３）エアゾール噴出部は、キャップ等により保護されていること。

４）内装容器は、外装容器の中で移動しないよう確実に固定すること。

５）外装容器のドラムは、鋼、アルミニウム、他の金属、合板、ファイバ又はプラスチック製に限ること。

６）外装容器の箱は、鋼、アルミニウム、他の金属、天然木材、再生木材、合板、ファイバ板又はプラスチック製に限ること。

別表第１備考三㈡②「213」の項を次のように改める。

「213」は、次の容器及び包装等を示す。

消火器は、作動することがないよう強固な外装容器に収納すること。ただし、備考２Ａ19の３）ウ）からオ）までに規定する大型消火器であって、次に掲げる条件を満たす場合にあってはこの限りでない。

１）輸送中の環境下において、安全性が損なわれないような十分に強固なものであり、かつ、漏えいが発生しないよう噴出部が保護されていること。

２）輸送許容物件と直接接触する部分は、触媒反応を起こし若しくは輸送許容物件と反応を起こすなどの危険を生じ、輸送許容物件による影響を受け又は当該部分の強度を損なってはならない。

３）弁は、キャップ等により保護されていること。

４）付属品は、不測の作動を防止する措置が施されていること。

別表第１備考三㈡②に次の項を加える。

「219」は、次の容器及び包装等を示す。

１）シリンダーに充てん後、充てん圧力は20℃において101.3kPa未満、かつ、50℃において300kPa未満であること。

２）最小試験圧力は、21barであること。

３）最小破壊圧力は、94.5barであること。